

病気を治すだけでなく、患者さんの心も癒す

くまちゃん通信



2021.1
Vol. 21

URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>

医療法人
朗源会 大隈病院

新年のご挨拶

恭賀新年



明けまして
おめでとうございます

医療法人朗源会 大隈病院 理事長 大隈 健英



昨年はオリンピックの開催年だったこともあり、老若男女とも大きな期待が広がりましたが思わぬウイルス騒ぎでまさかの延期となりました。令和元年11月に中国武漢から発生したウイルスが全世界に蔓延、翌年始から日本も感染拡大によりヒトも経済も大変なダメージを受けました。当初は、未知のウイルスであった

こともあり、我々の医療機関はその対応に奮闘しました。病院門前にテントを設営し、入場制限を行いながら発熱患者さまと向き合いました。冬の寒い中、夏の暑い中、院内への入場制限で利用者さまには大変なご迷惑をおかけしましたが、皆様のご協力のおかげで一人の院内感染もなく令和2年を終わらせることができました。一方でマスク不足の際は、地域の皆様から沢山のご寄付、温かい励ましの言葉を頂戴しました。職員を代表し心より感謝申し上げます。新年を迎え未だウイルスの猛威が収まらない状況にございますが、職員一同マスク・フェイスシールドの着用、小まめな手洗い、三密の回避、定期的な院内消毒等の感染対策を施し利用者様に安心して受診頂ける環境をご用意しながら日々の診療を行って参ります。

新年が皆様にとって幸多い年でありますよう、心よりご祈念申し上げます。

令和3年1月1日

謹んで新年のご挨拶を
申し上げます

医療法人朗源会 大隈病院 病院長 齋田 宏

2019年12月に武漢市から発生した新型コロナウイルス感染症は瞬く間に世界的大流行し、その感染拡大は、そう簡単には終息しそうもありません。

現在、アフターコロナ(ウィズコロナ)を見据えた「新たな生活様式」として、日常生活や働き方などの変革が提唱されていますが、我々医療・介護の分野も同じで、新たな地域医療の提供が模索されています。超高齢社会の到来と相まって、刻々と変容する地域医療ですが、患者さんや地域住民の皆さんに、当院が提供する基本姿勢『いつまでも元気な、お家での生活を支援 ～時々入院、ほぼお家～』に変わりはありません。このような不確定な世情だけに、「地域の皆さんから信頼される病院でありたい」という当院の目標に立ち返り、目の前の課題の一つひとつ着実に取り組んでいきますので、本年も更なるご支援をお願いします。



2階病棟

って、どんなところ？



患者さんの些細な動作から、病状を察知しケアできる観察力が求められます

2階病棟 看護師長 永見 晃

2階病棟は、医療療養病棟で、主に慢性期の疾患で長期にわたり療養を必要とする方々に、医療と介護を提供する病棟です。急性期治療は一段落したけれど、自宅や施設に戻ってのケアでは不安で、通院が困難なため病院での療養が継続的だと判断された患者さんなどが該当します。特に、お年寄りの病気は長引くことが多く、長期的な医療とともに、身体機能の低下を予防するための手厚い看護・介護が大切です。

スタッフは、看護師17名、看護助手8名、クラーク1名が担当します。療養病棟の入院患者さんは、ほぼ寝たきりで意識がない方が多く、自分で「痛い」、「つらい」を伝えることができません。そのため、スタッフは、患者さんの些細な動作から病状を察知しケアできる観察力が求められます。熟練の観察眼をもつベテランだけでなく、最近では、若手や男性のスタッフもおり、それぞれの視点で多様なケアを実践できるよう業務に勤しんでいます。全ての患者さんが、治癒および軽快し退院できるわけではありませんが、自宅に帰られる時には、安全安楽に在宅療養できるよう、多職種と連携し支援しています。また、亡くなられる方も少なくなく、そのような時に、患者さんや家族が望んだ最期を迎えられ、寄り添える看護ができるよう、スタッフ一同日々精進しています。



2つの“もの忘れ”

～ 加齢によるもの忘れと認知症による記憶障害 ～



記憶は、①**記録**(情報を学習し覚える)、②**保持**(情報を記憶として蓄える)、③**想起**(情報を思い出す)の三段階からなっています。

“**加齢によるもの忘れ**”では、③の想起の機能が低下することで、覚えていることを思い出すまでに時間がかかるようになります。その為、「約束したこと」自体は覚えていて、“自分が忘れていたこと”には自覚があります。

“**認知症によるもの忘れ**”とは、「約束したこと」そのこと自体を覚えていないことで、これは記憶の初期段階である①の記録が出来なくなることによって生じる記憶障害です。コロナ禍で、人との関わりが少なくなりがちです。頭の体操に、音読や低学年の計算ドリルなど行ってみてください。

【加齢によるもの忘れと認知症の記憶障害との違い】

加齢によるもの忘れ	認知症の記憶障害
経験したことが部分的に思い出せない	経験したこと全体(自体)を忘れている
目の前の人の名前が思い出せない	目の前の人や誰なのかわからない
物の置き場所を思い出せないことがある	置き忘れ・紛失が頻繁になる
何を食べたか思い出せない	食べたこと自体を忘れている
約束をすっかり忘れてしまった	約束したこと自体を忘れている
物覚えが悪くなったと感じる	数分前の記憶が残らない
曜日や日付を間違えることがある	月や季節を間違えることがある



コロナ禍での「人生100年時代」

人生100年と言われる時代。何とか100歳まで生きるのではなく、自分らしく生きていければいいですね。その為には、いつまでも自分の体を思うように動かせることが大切です。新型コロナウイルス感染拡大により長く続く外出自粛にて、リハビリの継続が困難となり、フレイル(身体の虚弱)を生じる高齢者が増えています。このコロナ禍でも安心してリハビリを当院で継続していただくために、リハビリ課では感染対策として、マスクやプレスシールドの常時着用、リハビリ室の換気、個々のリハビリが終わるごとの手洗い、ベッド及びリハビリ使用機器の消毒などに努めています。「元気で100歳！」を応援するために、皆さんと一緒に頑張りたいと思っています！



医療法人 朗源会 大隈病院

〒660-0814 兵庫県尼崎市杭瀬本町2-17-13
TEL:06-6481-1667(代表) FAX:06-6481-1753
URL <http://www.ookuma.or.jp/ookuma/index.html>



朗源会グループ ■岩崎クリニック ■大隈病院附属 歯科クリニック ■在宅事業部
■特別養護老人ホーム ほがらか苑

大隈病院

検索

基本方針

- 地域の人々に信頼される病院になります。
- 高度の医療機能を持つ かかりつけ病院になります。
- 病気を治すだけでなく、病める人の心を癒す病院になります。
- 職員が勉強し、朗らかでやりがいのある職場をつくります。